

事業計画書

事業名	地域協働によるまちゼミ事業
実施箇所	中込商店街全域
実施期間	事業開始予定年月日 平成30年5月1日
	事業終了予定年月日 平成31年3月15日
事業概要	<p><事業の目的及び達成目標></p> <p>小規模店舗が大型店・量販店と品揃えや価格で対抗することが難しいため、商店街および個店が地域コミュニティーの中心として地域住民の役に立てることをアピールし、商店の存在感、存在意義を高め、商店街と商店のファンをつくることを目的とする。また高校生をはじめ地域に住む色々な知識や技術を持つ人も地域の財産であり、そのような人の講座も開催し、より幅広いお客様に参加してもらえる多彩なゼミを目指す。</p>
	<p><事業の内容></p> <p>受講料無料で商店主やその業界のプロ、あるいは地域の名人・達人の知識や技術・ノウハウを教える少人数制の講座を年間4回開催する。なお、材料費が必要な場合は告知の際に明記する。</p> <p>告知はB4判のチラシ40,000枚を新聞折り込み、500枚を各店店頭に掲示および来店客に配布する。インターネットのWebサイトおよびFacebookにも掲載する。</p> <p>講座の都度、アンケート調査をし、まちゼミに対する意見、商店街に対する意見を集積し、まちづくりに役立てる。</p>
	<p><アピールポイント></p> <p>商店はお客様に店を知ってもらうきっかけになり、参加者は無料で学ぶことができ、商店街は参加者でにぎわう、三方が良い催事となる。</p> <p>少人数の講座のため、いろいろな会話ができて、講師が参加者からアドバイスをもらうことも多く、講座の進め方や内容について改善できることが多々ある。また商品説明や品ぞろえなどについて、商売に直接結びつく意見が出ることも多い。</p> <p>高校生も自分が講師をする立場になると、より真剣になり、また地域貢献するという意識から責任感などの面で精神的成長の一助になると思われる。</p> <p>少人数制のメリットが多いため参加者数を増やすことを目標としないが、講座数は増やし多彩なゼミを開催したい。昨年度4回の合計講座数93を上回ることを目標とする。</p>

年間計画	4月	
	5月	商店街各店に第1回まちゼミ参加（開講）を募集
	6月	6/2㊥ 第1回まちゼミ募集チラシ発行。参加者受付。 まちゼミ開始
	7月	まちゼミ開催 ～7月中旬ごろまで
	8月	商店街各店に第2回まちゼミ参加（開講）を募集 8/25㊥ 第2回まちゼミ募集チラシ発行。参加者受付。 まちゼミ開始
	9月	まちゼミ開催 ～9月末ごろまで
	10月	商店街各店に第3回まちゼミ参加（開講）を募集
	11月	11/3㊥ 第3回まちゼミ募集チラシを発行。参加者受付。 まちゼミ開始
	12月	まちゼミ開催 ～12月中旬ごろまで
	1月	商店街各店に第4回まちゼミ参加（開講）を募集 1/19㊥ 第4回まちゼミ募集チラシを発行。参加者受付。 まちゼミ開始
	2月	まちゼミ開催 ～2月下旬ごろまで
	3月	アンケート集計。

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 (事業の対象者・参加予定人数も記載)</p>	<p><「公益性」の視点> ・事業の対象者・参加予定人数…お酒の講座など、一部のゼミで年齢制限を設ける場合があるが、ほとんどの講座が小学生以上なら参加できる内容で、多くの人に楽しんで学んでもらえる講座となっている。今年度全4回のまちゼミで約800人の参加を見込んでいる。 ・年配者の多くは老化防止、認知症予防のために積極的に学んだり趣味の活動をしているため、このまちゼミが「知る楽しみ」や「他人と接する」機会の一つとなっている。</p>
<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点> 支援金が得られない場合は、発行するチラシ枚数は削減せざるを得ないが、それ以外は各個店の努力で開催が可能である。 参加者から「次のまちゼミはいつですか?」と聞かれるように、中込商店街の特長ある事業として認知されてきているため、今後も商店会の年間計画の中に組み込み、より良い、楽しい、面白いまちゼミになるようアンケートの分析、全国のまちゼミの企画などを研究していく。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>昨年度、今年度と同様に、年間4回を開催を予定している。 もっと回数を増やすよう希望する参加者の声も多いが、あまり連続して開催すると各個店の日程的な負担もあるため現在の回数が最大だと考えている。ただ、個店によっては毎月開催できる講座もあり、あるいは参加希望者が多いため日程を延長して開催する講座をあるため、隔週刊の中込商店街だよりやインターネットを活用して告知する。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>主目的はお客様と店主・商店街との信頼関係の構築にある。信用できる商店であり、何でも相談できる商店となることが目標である。 日常的に足が向く商店・商店街となることや何でも話せる関係づくりからお客様の意見を聞き、まちづくりに役立てる。お客様にも参画意識を持ってもらい地域協働でまちづくりを進めることにより、安心・安全で活力ある地域づくりを目指す。</p>